

2015～16年度

委員会活動方針 ならびに実施計画

＜クラブ奉仕委員会＞

委員長 咲山 旭

活動方針

クラブ奉仕各委員会の活動方針を把握して、各委員会間の連携を良くする。

実施計画

前後期各1回ずつ、会長、幹事のご参加をお願いし、クラブ奉仕部門委員長会議を開催する。

＜職業分類・会員選考・会員増強委員会＞

委員長 今野 利雄
副委員長 戸松 生吉

活動方針

わがクラブの会員数は、ピークから半数以下に減少し、もはや会員増強は論じる段階ではなく、「実効あるのみ」を合言葉に、全会員が積極的に会員増強を行う。

実施計画

- ①職業分類／分類表をみると大半は未充填となっているので、分類表を全会員に配り現状を認識してもらう。
- ②会員選考／奉仕精神に溢れ、財政的義務を果たし、例会に規則正しく出席できるかどうか委員会で十分検討し、当クラブの推薦基準に沿って選考する。
- ③会員増強／クラブ衰退の危機感を共有し、会員増強に更なる誠意と情熱と知恵を傾けて、全会員が協力してクラブの全体的な取り組みを推進する。

＜ロータリー情報・IT委員会＞

委員長 三重野正之
副委員長 阪上 健

活動方針

ロータリーに関する情報を収集し、適切な手段で会員に伝え、理解を深める事とする。ITの変化に対応する。

実施計画

- ・大型インフォーマルミーティングを年度初めの会員親睦会時に実施する。
- ・少人数によるインフォーマルミーティングを下半期に実施する。
- ・インフォメーションにて情報の共有を図る。
- ・新入会員予定者には、その都度、適切なインフォメーションを行う。
- ・ホームページについて必要の都度、更新する。
- ・地区、クラブにおけるITの使用を考慮する。

＜出席委員会＞

委員長 林 勝行
副委員長 高松 慶暢

活動方針

例会出席は会員としての義務であり、都合により欠席する場合はメーキャップを勧める。

実施計画

- ・毎例会時に出席報告を行う。
- ・欠席者にメーキャップを勧める。
- ・皆出席者に表彰と記念品を贈呈する。
- ・IM や各種クラブ奉仕活動への参加を呼びかける

＜記録会報委員会＞

委員長 上松瀬 洋
副委員長 江口 祇董

活動方針

週報は、クラブ会員に重要な情報を伝達しています。そして又、クラブの活性化や会員の親睦にも役立っていますので、正確で読みやすい紙面作りに努めます。

実施計画

- ・ファイルの形状は、週報を保存しやすいように穴あけ式とする。
- ・週報担当者は当番制とし、欠席時は事前に次週担当委員に連絡して交替しあって作成に支障のないようにする。

＜親睦活動委員会＞

委員長 松永 典子
副委員長 吉村登志子

活動方針

ロータリーを通じて会員および家族を含めた交流を密にして、健全な楽しい活動を進めます。親睦活動の重要性の認識。

実施計画

- ・毎月初めの例会にて諸々のお祝いを行いません。
- ・新入会員の歓迎会を随時行ないます。
- ・他クラブからのお客様を丁重にお迎えします。
- ・7月11日(土) 会員親睦会を行ないます。(深井サンパレスにて)
- ・12月12日(土) クリスマス家族会をホテル日航大阪にて実施致します。
- ・4～6月に春の家族親睦会を実施致します。
- ・その他、親睦活動に必要と認められる活動を実施致します。

＜雑誌広報委員会＞

委員長 市平 一
副委員長 芝山 秀樹

活動方針

週報、ロータリーの友誌を通して、クラブ、RI、地区の状況を会員に発信する。

地域の人々にロータリーを知って頂くように努める。

実施計画

ロータリーの友誌の、特に重要な項目を例会時(原則第2週)に説明する。ロータリーの友誌に当クラブの奉仕活動を投稿するようにお願いする。(1カ月以内、写真入りが採択されることが多いそうです)

＜プログラム委員会＞

委員長 篠田 寛人
副委員長 沼田 康子

活動方針

年間を通して、本年度より変更されるロータリー特別月間を念頭に置き、バランスを考えたプログラムなるよう心掛けます。その結果として全会員の協力し合える楽しい例会になることを目標とします。

実施計画

- ・クラブ協議会/年4回
- ・インフォメーション/年4回(会員増強・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕各委員会)
- ・クラブフォーラム/年4回(米山奨学会・社会奉仕・ロータリー財団・親睦活動)
- ・卓話/24回
- ・休祝日/年3回
- ・合同例会/年2回(新春・堺おおいずみ)
- ・定款の規定による休会/4回
- ・その他/年7回

＜職業奉仕委員会＞

委員長 奥野 眞一
副委員長 松永 典子

活動方針

ロータリーの活動の根源ととらまえ、自身の職業と照らし合わせながら。職業奉仕に対する意識を高めていく。

実施計画

- ・インフォメーションを行い、職業奉仕に対する見識を高めていく。
- ・職場見学会を実施する。

＜社会奉仕委員会＞

委員長 佐竹 昭嗣
副委員長 寺山 武夫

活動方針

地域に密着した奉仕活動を実施し、継続的に行われているプログラムを重視する。青少年奉仕委員会と連携し行動する。

実施計画

- ・クラブフォーラムを行い、全員に理解と協力をお願いする。
- ・交通安全運動、火災予防週間に協力する。
- ・「陵東館長曾根」でのボランティアコンサートを開催する。
- ・堺市民オリンピック・堺市展等に協力。

＜青少年奉仕委員会＞

委員長 阪上 健
副委員長 篠田 寛人

活動方針

青少年ならびに若者の基本的ニーズである健康、人間の価値、教育、自己啓発を支援する事を企画し、もって地域内における健全なる新世代の育成を図ることとします。

実施計画

- ・大阪府立大学が本年4月に開設した「I-Wing なかもず」の活動に協力し、地域の小・中・高校生との交流、地域行事への参加を通して、健全な青少年の育成を支援します。
- ・社会奉仕委員会、国際奉仕委員会のプロジェクトに協力し、社会を知り、世界を学ぶことにより、健全な新世代の育成を支援します。

＜国際奉仕委員会＞

委員長 橋本 勝也
副委員長 八百 正浩

活動方針

ロータリークラブ定款、堺東ロータリークラブ細則に従い、国際奉仕に関する活動をクラブ会員に啓発し、理解と参加を促して奉仕活動を促進する。

実施計画

- ・地区協議会（あれば）の報告をする。
- ・世界理解月間にインフォメーションを行う。
- ・大阪府立大学での「留学生日本語弁論大会」に参加、支援。
- ・NPO 法人エスペランサを通じ、ギニアビサウの中学生1名を里親として引き続き支援する。クラブメンバーにも引き続き支援（アイサーブ）をお願いする。
- ・ロータリー財団委員会、米山奨学委員会に協力。
- ・国際奉仕に関する情報をクラブメンバーにアナウンスする。

＜ロータリー財団委員会＞

委員長 吉村登志子
副委員長 高橋 秀明

活動方針

ロータリー財団の活動について会員に情報を発信し理解と協力を求めていく。

実施計画

- ・寄付金目標額に達するように会員に情報を発信していく。
- ・ロータリー財団月間の11月にクラブフォーラムを行なう。

＜米山奨学会委員会＞

委員長 中村 清嗣
副委員長 高松 慶暢

活動方針

米山記念奨学会、米山奨学生に対する理解を深めると共に、国際理解、国際親善に努めたい。

実施計画

- ・米山基金に対して米山功労者、準米山功労者の増員を図る。
- ・国際奉仕委員会と協力し、米山月間に、奨学生に卓話をお願いしたい。

＜SAA委員会＞

委員長 芝山 秀樹

活動方針

伝統ある堺東RCの名に恥じぬよう秩序を重んじ、明るく楽しい例会と作りに努めます。

実施計画

- ・委員の集合時間は11時40分とし、打ち合わせ、準備を行う。
- ・例会場のSAAの席は奥に設ける。
- ・司会、ニコニコ箱の発表は輪番制とし、委員会全員で進め、盛り上げていく。
- ・卓話の前の時間は、可能な限り会員間の交流の時間とする。
- ・ニコニコ箱の年間目標額は130万円以上とする。
- ・親睦活動委員会と連絡を密にし、お互いに協力する。

<会計>

八百 正浩

活動方針

堺東ロータリークラブの細則に則り、資産管理ならびに会計業務を適正に行なう。

実施計画

- ・細則第4条第6節の規定に基づき業務を実施する。
- ・委員会活動資金は、できるだけ予算範囲内で執行されるようにする。万が一、予算オーバーする場合は、理事会に図ることとする。
- ・毎月の収入、支出の帳簿および伝票等の監査を行ない、理事会に提出し報告を行う。